

教科	科目	単位数	学年	学科	区分	使用教科書
家庭	家庭基礎	2	2	電気・機械	必修	図説家庭基礎 実教出版

1. 学習の到達目標

家庭基礎では、人の一生を生涯発達の視点でとらえ、家族・家庭の意義、家族、子ども、高齢者、そして社会との関わりについて理解します。自立した生活にむけて基礎的な知識と技術を習得するとともに、家庭生活の充実向上をはかる力と実践的な態度を身に付けることが目標です。

2. 学習の評価

評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
評価の規準	家庭や地域の生活について関心をもち、その充実向上を目指して主体的に取り組むとともに、実践的な態度を身につけている。	家庭や地域の生活について課題を見だし、その解決を目指して思考を深め、適切に判断し工夫し創造する能力を身につけている。	家庭や地域の生活を充実向上するために必要な基礎的・基本的な技術を身につけている。	家庭生活の意義や役割を理解し、家庭や地域の生活を充実向上するために必要な基礎的・基本的な知識を身につけている。
評価の方法	出席状況、授業態度、学習の取り組み状況、作品や課題・レポートなどの提出物の状況、定期考査などを総合的に判断して評価します。			

3. 教科からのメッセージ

家庭科の学習を通じて学んでほしいこと、それは、生きていく上で必要なことを誰かに頼らなくてもすむような自立性を身につけてほしいということです。経験の積み重ねによって技術は向上していきます。学校で学習した内容を、実際の生活の場で実践し、定着させることが大切だと思います。また、日頃から新聞やニュース等を通して今社会の中で問題になっている様々なことに目を向けるなど、家庭を取り巻く環境に関心を持ち、自分自身の生活に置き換えて考える姿勢を持ちましょう。

月	大項目	中項目	時数
	目標	人の一生を生涯発達の視点でとらえ、家族・家庭の意義、子ども、高齢者、そして社会との関わりについて理解する。自立した生活にむけて基礎的な知識と技術を習得し、家庭生活の充実向上をはかる力と実践的な態度を育てる。	
4	家庭科を学ぶにあたって	「家庭基礎」を学ぶにあたって、学習の意義や内容・方法・評価について理解する。	1
5	第2編 生活をつくる ・2章 衣生活をつくる	1. 人と衣服のかかわり 2. 衣服の機能 3. 衣服の素材を見てみよう 発展 タブレットクリーナー制作	13
6 7	・1章 食生活をつくる	1. 私たちの食生活 2. 食品の栄養素とからだの成分 3. 炭水化物とその食品 4. 脂質とその食品 5. 食物4級検定説明 6. 食物4級検定の実技試験	12
9	・3章 住生活をつくる	1. 人と住まいのかかわり 2. 住空間の成り立ちと平面計画	4
10	第3編 消費者として自立する ・1章 消費行動を考える	1. 主体的な消費行動と契約 2. 多様化する販売方法と問題商法 3. 適切な契約、製品による事故	6
11	・2章 経済的に自立する 生活設計	・調理実習①・②	6
12	第1編 人とかかわって生きる ・1章 自分らしい生き方と家族	1. これからの人生を生きる 2. 人生を設計するために考えること 1. 自分を見つめる 2. ライフステージと発達課題 3. 自分らしく生きることと、共に生きること 4. 共に生きる家族	6
	ホームプロジェクト	実践活動	2
1	・2章 子どもとかかわる	1. 子どもを知る 2. からだの発達 3. 感覚・運動機能と知能の発達	8
2	・3章 高齢者と関わる	1. 高齢社会に生きる私たちの暮らし 2. 高齢者の心身の変化	6
3	・4章 社会とかかわる	1. 支え合う暮らしとは 2. 私たちの社会福祉	

